

# はぐくみネットワーク

## 社会全体で子どもをはぐくむ 運動を支える県の事業について

### 新潟県 学校・家庭・地域の連携促進事業

地域住民や保護者、学校関係者等が連携・協力し、地域全体で子どもたちの教育活動の支援に参画する仕組みづくりを進める事業です。市町村が実施主体となり、学校や地域との調整役であるコーディネーター、学校の授業補助や環境整備を行う教育活動支援員など、事業の担い手として多くの地域の方々に参加・協力いただきながら、以下のような活動を行っています。



家庭科ミシンボランティア



茶道体験ボランティア



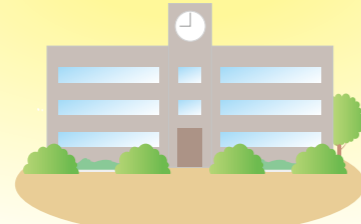
図書室整理ボランティア



家庭教育支援員による保護者対象の学習会



自然観察体験ボランティア



学校



竹細工体験ボランティア

どれもみな、子どもたちの健やかな成長を願って、地域の方々が協力して学校と連携しながら行っている活動です。こうした活動が、学習意欲・体力向上や生活習慣の改善など、地域の子どものよりよい育ちにつながっています。子どもたちの笑顔は地域の笑顔をつくれます。みなさんも気軽に参加してみませんか？

## 親の学び 応援します!!

### 1 「すこやかコール」

- 家庭教育・子育て電話相談 025-283-1150  
乳幼児から青少年まで子育ての悩みを御相談ください。  
受付：月～金の13時から19時まで  
上記以外はFAX相談：025-284-6019

### 2 「そだちのヒント 365」

- 新潟県地域家庭教育推進協議会からの応援メッセージ「そだちのヒント365」を県のHP携帯電話版に掲載しています。
- 家庭教育手帳を県のHPに掲載しています。

そだちのヒント 365



### 3 「すこやかな子どもの成長のために」

- 家庭教育リーフレットを小学校1年生保護者へ配布しています。

### 4 企業向け家庭教育出前講座

- 企業に出向いて、家庭教育講座を開催しています。

お問い合わせは **新潟県教育庁生涯学習推進課**  
〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1  
TEL 025-285-5511(内線 3895) 025-280-5617(直通) FAX 025-284-9396  
E-mail : ngt500060@pref.niigata.lg.jp  
U R L http://www.pref.niigata.lg.jp/syogaigakushu/

社会全体で子どもをはぐくむ運動 広報紙 No.11 平成24年3月号 編集：新潟県地域家庭教育推進協議会 発行：新潟県教育委員会



社会全体で子どもをはぐくむ運動は、子どもたちが心豊かに健やかに成長していくように、親や家族、地域の大人一人ひとりが、それぞれの役割と責任を担い、子どもたちを支え育てていく地域をつくろう、という運動です。

今回は、『社会全体で子どもをはぐくむ運動』実践交流会と、見附市の学校支援活動の取組を紹介します。

## 広げよう 子どもをはぐくむ活動の輪!



講演者：宇都宮大学 廣瀬隆人 教授



事例発表者(左より) 郷扶二子さん(新潟市) 木村義隆さん(南魚沼市) 星野栄子さん(南魚沼市)



県内各地の活動紹介パネルの展示



午後のグループワークの様子

12月6日、長岡市中之島文化センターで開催した実践交流会には、県内各地から約170名の方々が参加してくださいました。午前は事例発表、午後は午前の発表を基に、互いの実践を語り合いました。最後に、まとめとして、宇都宮大学の廣瀬先生から御講演をいただきました。

事例発表では、「地域による学校支援活動」推進にかかわる文部科学大臣表彰を受賞された新潟市立坂井東小学校の地域教育コーディネーター郷扶二子さんと、文部科学省が作成した家庭教育支援のブックレットにも紹介されている南魚沼市の家庭教育支援チーム「だんぼの部屋」の木村義隆さん、星野栄子さんから具体的な取組が紹介されました。

郷さんの発表では、新興住宅地という環境の中で、学校支援ボランティア一人ひとりのそれぞれの違いを、打合せ会や反省会を通じて理解し合いながら行う学校支援活動と、それを核とした地域の人づくり・関係づくりの実践が語られました。

木村さん、星野さんの発表では、小学校内に誰でも気軽に立ち寄れる部屋として「だんぼの部屋」がしゃべり場サロンや親子ものづくり教室など、親子や大人同士、地域の重要な交流の場になっている様子が語られました。

どちらの実践も中学生や高校生が活躍し、子どもたちの社会参加による明るい未来を予感させる報告でした。

午後の分科会では、「異業種交流」を目的に、他市町村、他の活動分野の方と、学校・家庭・地域が連携を一層強固なものにしていくための方策をグループ協議で探りました。

廣瀬先生は、「学校をよくしたい」、「地域の子どもたちを健やかに育てたい」という気持ちで活動している方々の交流は、子どもや学校を支援しているように見えて、実は大人の教育力を引き出す営みであり、それがまちづくりや人とのつながりを作っていくことになるとまとめられました。

廣瀬先生の「笑顔は未来をつくる」の言葉どおり、事例発表、分科会、そして講演と、いずれも参加者の笑顔があふれる実践交流会でした。

活動分野やそれぞれの立場は違っても子どもたちに対する「思い」は皆同じ。これまでの事業の枠にとらわれずに、自分たちの活動メニューを多様化することで、ネットワークを広げ、地域の人材を有効に活用した活動へと発展させてみませんか？

# 学校と地域をつなぐ虹の架け橋



見附市では、平成18年度より「見附市共創郷育事業」として地域と学校との連携を充実・発展させ、地域と学校とが一体となって児童・生徒を育てる仕組みづくりに取り組んでいます。平成20年度からは、文部科学省委託事業「学校支援地域本部事業」に取り組み、現在、市内全小中学校及び特別支援学校において学校支援地域本部が活動しています。その中でも田井小学校学校支援地域本部は、地域ボランティアの多くが保護者以外の地域住民であること、地域コミュニティ組織である「北谷南部みつばコミュニティ」と協力して活動を行っていること、長期休業中に地域ボランティアが体験教室を行っていることなどが評価され、優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞しました。

## 校長先生に聞きました！

### 子どもたちの成長

- 図書館支援を通して、子どもたちが読書好きになり、国語の力が向上するなど学力が向上しました。
- 稚児舞やみつば太鼓の演奏を通して人前に出る自信を持つようになったり、地域愛が高まっています。
- 地域の方と常に触れ合うことによって、情操面でも成長し自然と挨拶ができるようになりました。

### 学校の変化

- 学校図書館サポートやクラブ活動への支援によって、教職員の負担が軽減され、子どもたちに接する時間が増えました。
- 地域の学校への理解の深まりと、地域の方々の子どもたちを活躍させたいという熱い思いを感じます。

見附市立田井小学校



児童・生徒数 41名  
学級数 5学級  
教職員 12名

子どもたちの笑顔とボランティアの笑顔を伝える！

### 地域への情報発信

エプロン特派員レポート

レインボー通信発行

市教育委員会が立ち上げたホームページ「エプロン特派員レポート」への投稿や虹のかけはし隊が作成する「レインボー通信」を全保護者へ配布するとともに町内に回覧！

URL: <http://www.mitsuke-ngt.ed.jp>

人口 1,405人  
世帯数 470世帯  
(H21.4.1現在)

地域(学区)



ポイント 101人 (H22実績)

地域ボランティア

- 活動は、無理せず、できることで十分！
- 自分でやっているものだから人にも勤めています！

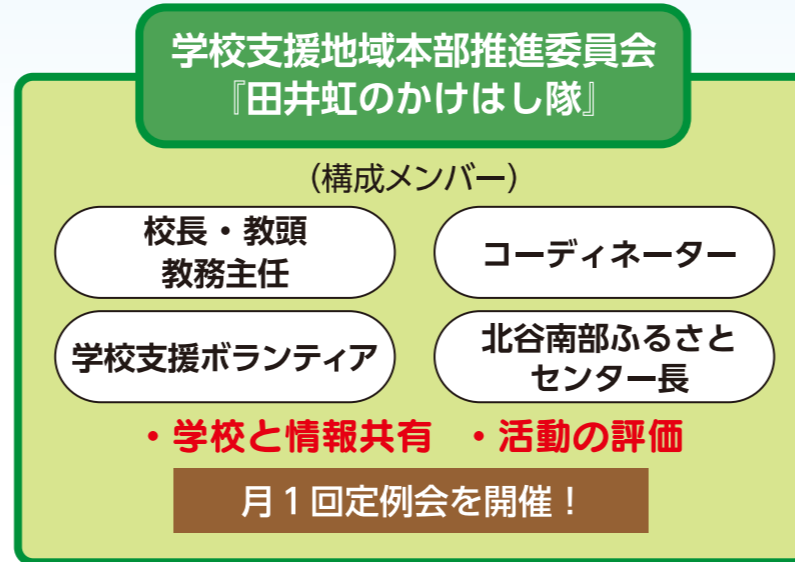
ポイント

北谷南部ふるさとセンター  
(北谷南部みつばコミュニティ)

北谷南部ふるさとセンターに「つながり交流部会」を設置、学校への支援だけでなく学校へ地域コミュニティのイベントへの協力など様々な提案がされています。

※つながり交流部会には学校長・教頭・教務担当も所属しています。

コミュニティセンターが小学校の敷地内に設置されたことが、学校と地域コミュニティが一緒になって活動するきっかけとなりました！



### 主な活動

学校図書館サポート

学習・クラブ活動支援

地域の伝統文化の継承

学校行事の支援

安全・安心の支援

### ポイント



生花教室



空手教室



田植え指導



図書整備



読み聞かせ



みつば太鼓



合同運動会

地域の皆さんと合同運動会を実施！例年以上に盛り上がりました！

長期休業中にボランティアによる体験活動教室である「わくわく体験塾」を開催！

様々な体験的学習を通して、子どもたちの学びを支援しています。

季節に合わせた図書館の飾り付けや図書整備、読み聞かせを行っています。

地域行事や敬老会で演奏に向けて、地域の一人として指導しています。

## 地域の変化

- 子どもや孫がいない人でも学校に係わるきっかけとなっている。
- 地域の人々が、子どもたちを地域の宝として感じるようになった。(皆で育む意識)
- 子どもたちが地域行事に参加することによって、地域が明るく元気になった。